

第46回 経営協議会 議事要録

日 時 平成25年10月17日（木）13時30分～14時35分

場 所 事務局第二会議室

出席者 宮田亮平 学長、畑中裕良 理事、横里幸一 理事
保科豊巳 美術学部長、植田克己 音楽学部長
岡本美津子 大学院映像研究科長

石田義雄 委員、高階秀爾 委員、滝 久雄 委員
遠山敦子 委員、福井俊彦 委員

陪 席 監事：中島尚正 監事、金井 満 監事

渡邊健二 理事、北郷 悟 理事

越川倫明 副学長、澤 和樹 副学長

宮廻正明 社会連携センター長 [学長特命（社会連携担当）]

三田村有純 学長特命（グローバル化推進担当）

多田羅迪夫 演奏芸術センター長 [学長特命（グローバル化推進担当）]

大角欣矢 附属図書館長

欠席者 中村胤夫 委員

関 出 大学美術館長、桐山孝司 学長特別補佐

議題

1. 人事院勧告等への対応について

議長から標記のことについて提案があり、畑中理事から資料に基づく説明の後、審議の結果、具体的な実施時期、内容等については、大学に一任することとしたうえで、原案どおり承認された。

2. その他

特になし

報告及び連絡事項

1. 平成24事業年度財務諸表の承認について

標記のことについて、畑中理事から資料に基づき報告があった。

2. 平成26年度概算要求について

標記のことについて、畑中理事から資料に基づき報告があった。

3. その他（昨今の本学をめぐる諸情勢について）

- 国際芸術図書館及び上野の杜芸術文化特区構想について
 - ・ 北郷理事から、机上資料に基づき報告があった。
- 藝大アーツ イン 東京丸の内2013について
 - ・ 宮廻学長特命から、机上資料に基づき報告があった。
- 「野澤コレクション」SPレコードの寄贈について
 - ・ 植田音楽学部長から、報告があった。
- 「高野辰之展」について
 - ・ 大角附属図書館長から、机上資料に基づき報告があった。
- 藝大オペラ特別講演「秘密の結婚」について
 - ・ 植田音楽学部長から、机上資料に基づき報告があった。

その他：（ご助言、ご提言等）

学外委員からの主な意見

- 「高野辰之展」は興味深い、資料を是非見たい。
- 「野澤コレクション」のSPレコードは、貴重な資料である。こういったアーカイブは大切に、現代に対するヒントとなる。
- 新しいものも良いが、歴史を伝えていくことも必要で、国際芸術図書館には期待している。
- 「漱石展」、「仏頭展」と工夫があり、市民が楽しめるものを発信し続けられることは良い。音楽では、オペラや演奏会などがあり、先生方の作品等を、こうして外に出していくことが藝大の存在価値を示す。藝大は存在自体に特色があり、着々と行えば良い。
- 藝大に来て感心することは、様々なことが考えられていて、町との関わり、地域との関わりを含めて、藝大には存在感がある。
- 今、大学問題がクローズアップされて、「グローバル化」などがキーワードとなっているが、グローバル化は、藝大ではもともと行っている。特に若者同士が異文化相互の制作研究を自由闊達に行い、クリエイティブなものに手応えがあると良いと考える。
- 藝大は、他大学と違うところで藝大らしいクリエイティブなものを目指せば良い。
 - ・ 澤副学長から、藝大は、グローバル化の取組の一環として、これまでも諸外国で演奏会を行っており、現在はジュネーブ音楽大学と交流演奏会などを行っている。また、これまではこちらからヨーロッパへ留学していたが、近年ではヨーロッパの学生が藝大に学びに来るようになってきた旨の報告があった。
 - ・ 渡邊理事から、現在は大学院だけでなく、学部にも外国から留学生が来ており、彼らは日本の学生と発想等がかなり違うので、ぶつかり合って、かなりおもしろい環境ができている旨の報告があった。
- MIT（マサチューセッツ工科大学）では、1年生の必須科目として「芸術文化」を勉強することとした。日本は素晴らしい文化を持ちながら、国民は自信を持っていない。藝大の教員、学生が担当して、国立大学の1年生に必須科目の授業として行うような提案をしてはどうか。
 - ・ 議長から、本学と慈恵医科大学との連携について報告があった。

- ・ 保科美術学部長から、これまで藝大は入試等をあまり表に出してこなかったが、本年度「大学入試説明会」を行い、芸術を目指す若者達などから大きな反響を得た。これを機会にもっと若い人達が文化芸術を理解し、志すようになればと期待したい旨の報告があった。
- 国立大学法人が10年たち、振り返ってどう発展評価させるかという時期に来ていると言われているが、東京藝術大学は、ここ10年で、ものすごく変わったと言っている人がいる。藝大には、周りからそう見えたり、変わってきたと言わしめる足跡がある。藝大は藝大らしく、これからの10年も地道に努めれば良い。
- 特区化の際は、小中学生といった一番最初の段階から、美術、音楽の教育を図ってほしい。
- 学業のスタートは縁のないことからでも関心が持てるようなもので良い。人を育てるような教育が必要である。
- 藝大には、歌舞伎、文楽のような授業があるか。
 - ・ 植田音楽学部長から、関連するものとして、邦楽科の中に「能楽囃子」、「日舞」などがある旨の発言があった。

- 会議終了後、美術学部大石膏室の見学会が開かれた。